



# 園だより・風（春風）

社会福祉法人尚徳福社会  
保育園与那原ベアーズ2  
園長



2024年度は24名の子どもたちが小学校へと巣立っていきます。長い子は6年間保育園で色々な経験をしてきました。そのなかで、たくさんの友だちと出会い、笑ったり、泣いたり、時には怒ったり、友だちがいるからこそできる体験をし、心も体も大きく成長してきたと思います。3月15日(土)は卒園式を行う予定にしております。



## 【園長のひとり言】

3月になると「1年あっという間だな」と毎年感じますが、2024年度もあっという間に3月を迎えてしまいました。保護者の皆様には、園の運営へのご理解とご協力、そして、晴れの日も雨の日も関係なく、毎日のお子様の送り迎え等ありがとうございます。下記に「尚徳福社会の教育・保育の考え方」のまとめとして保育所保育指針の内容を抜粋して掲載しました。人的環境・物的環境を通して、充実感や達成感を得て好奇心や意欲を高める他、自己肯定感を育みながら今、そしてこれからをよりよく生きるために必要な力を、子ども主体の保育を行いながら育てていきたいと考えます。



## 【社会福祉法人尚徳福社会 教育・保育の考え方まとめ】

保護者の皆様に、尚徳福社会における教育・保育の考え方について、数回に分けてお知らせしてきました。最後にまとめとして、保育所保育指針より抜粋した文章をお伝えしたいと思います。

■身近な人との信頼関係の下で安心して過ごせる場において、子どもは自分の意思を表現し、意欲を持って自ら周囲の環境に関わっていく。このことを踏まえ、保育に当たっては、一人一人の子どもの主体性を尊重し、子どもの自己肯定感が育まれるよう対応していくことが重要である。■保育において子どもの主体性を尊重するという事は、子どものしたい様にさせて保育士等は何も働きかけをしないようにするという事ではない。子ども自らが興味や関心をもって環境に関りながら多様な経験を重ねていけるようにするためには、保育士等が乳幼児期の発達の特性と一人一人の子どもの実態を踏まえ、保育の環境を計画的に構成する事が重要となる。その上で、子どもが安心して様々なことに取り組み、充実感や達成感を得て更に好奇心や意欲を高めていけるよう、一人一人の心身の状態に応じて適切に援助することで、こどもの育とうとする力は発揮される。■乳幼児期の教育においては、保育士等が一方向的に働きかけるのではなく、子どもの意欲や主体性に基づく自発的な活動としての生活と遊びを通して、様々な学びが積み重ねられていくことが重要である。

## 【家庭保育のお願い】

- ◆3月15日(土)卒園式・新入園児説明会を実施するにあたり、12時30分以降の保育に関しては、家庭保育のご協力をお願い致します。
- ◆3月31日(月)貯水槽点検による断水の為、家庭保育のご協力をお願い致します。

## 【3月の予定】

- 3月3日(月) ひな祭り集会
  - 3月10日(月)～
  - 3月14日(金) 保育参加ウィーク
  - 3月12日(水) 誕生会
  - 3月15日(土) 卒園式・新入園児説明会
  - 3月20日(木) 春分の日で休園
  - 3月31日(月) 断水の為家庭保育願ひ
- ※火災避難訓練(日時未定)

## 【次年度に向けた保育について】

1つ大きくなる事に期待をして過ごしている子どもたちですが、少し不安もあるのではないのでしょうか。スムーズに新年度を迎える事が出来る様に、3月17日(火)より以下の通り移行保育を行います。

- ◆3/17(月)きりん・ぱんだ組が新クラスへ移動(迎えから新クラスへお願いします)
- ◆3/18(火)こぐま・うさぎ組が新クラスへ移動(迎えから新クラスへお願いします)
- ◆3/19(水)りす組が新クラスへ移動(迎えから新クラスへお願いします)

※朝の準備等に関しては、クラス前の掲示をご覧頂くか、担任まで声をお掛けください。